

登米の地から



とめのちから

登米の力

令和7年11月15日開催

～登米地域の魅力体験イベント～ 「こめまる2025」

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所地方振興部

地域の体験コンテンツの掘り起こし・磨き上げや、魅力発信による交流人口の拡大を目的に、農業産出額宮城県トップを誇る登米市で、「米」をテーマにしたイベント「こめまる2025」を開催しました。イベントでは、炊きたて新米のおむすびづくり体験や手動精米体験、お米の重さ当てゲームなど、「米」に関連する企画の他、登米総合産業高校吹奏楽部による演奏やよさこい演舞などのステージ企画、登米市産食材を使用した飲食店ブースや地場産品販売ブースなどもあり、子供から大人まで、多くの人で賑わいました。

また、イベントスタッフには、一般ボランティアに加え、高校生ボランティアの参加も多く、イベントで配布する登米



新米おむすびづくり体験



高校生ボランティアデザイン・登米市産新米ラベル

市産新米のパッケージラベルのデザイン製作やお振舞用はつの準備など、イベント開催前の準備から当日の運営まで、多くのご協力をいただきました。

参加者アンケートでは、「おむすびづくりのお米がとてもおいしかった」、「登米市のお米や食材を好きになるイベントでとても楽しかった」といった感想が寄せられ、多くの方に登米地域の魅力を感じてもらえる1日になったのではないかと思います。

当部では、今後も登米地域ならではの魅力の掘り起こしや情報発信を行っていきます。



キッズ広場・ピクニックフィールド



ステージ企画：お米の重さ当てゲーム

イベント当日の様子

令和7年11月23日

豊里町・佐々木金三氏 「竹駒産業文化賞」を受賞

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業振興部

竹駒神社(岩沼市)が、郷土の農林水産業等産業振興に功績のあった個人や団体に授与する第70回「竹駒産業文化賞」に、豊里町の佐々木金三氏が農業(個人)の部で選ばれ、令和7年11月23日、授賞式が行われました。

佐々木氏は、平成13年にJAみやぎ登米豊里稲作部会の立ち上げに関わると同時に副部会長を務め、その後、部会長として地域の稲作のけん引役として中心的な役割を果たしてきました。また、「環境保全米こだわりのササニシキ復活プロジェクト」に取り組み、高品質なササニシキの生産およびササニシキブランド復活に大きく貢献してきました。

12月2日に佐々木氏が登米地域事務所に表敬訪問され、佐藤芳明所長に「引き続き高品質なササニシキの生産に努めていきたい。」と今後の稲作への意気込みを述べられました。



佐々木氏(中央)表敬の様子

令和7年11月13日開催

特定家畜伝染病の発生時における防疫演習

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部

令和7年11月13日(木)に、宮城県建設業協会登米支部と東部地方振興事務所登米地域事務所主催による「特定家畜伝染病の発生時における防疫演習」を開催しました。この演習は、鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病が発生した場合、速やかに処分、運搬、埋却作業ができるよう平成29年度から開催し、今年で7回目となります。演習は登米市迫町北方の株式会社太田組の社用地を会場として行われ、県建設業協会登米支部の会員19社と当所職員等あわせて79名が参加しました。

今年度は、防護服の着衣及び脱衣演習、殺処分後の家畜を農場外へ搬出するという想定で、ダンプトラックへ積込む際に安全な作業が行えるよう設置する仮設足場からのブルーシート敷設、対象物の積込み、ブルーシートで対象物を覆うという一連の演習を行い、作業手順等内容を確認しました。

当所では、万が一、特定家畜伝染病が発生した場合は防疫作業が円滑に進むよう、宮城県建設業協会登米支部をはじめ各関係機関と協力して対応出来る体制を整えております。



開会式(東部地方振興事務所登米地域事務所 佐藤所長よりあいさつ)



防疫演習(対象物の積込作業)



防疫演習(対象物をブルーシートにて覆う作業)

令和7年10月29～31日開催

令和7年度宮城県総合畜産共進会「肉豚の部」

宮城県東部家畜保健衛生所

養豚生産者が、養豚の家畜改良及び飼養技術の向上に努力・研鑽した成果を披露する「令和7年度宮城県総合畜産共進会(肉豚の部)」が、登米市米山町の「宮城県食肉流通公社」を会場に、令和7年10月29日～31日に開催されました。

共進会には、県内10農場112頭の出品があり、うち、登米地区からは、5農場50頭が出品されました。

1日目は各農場から出品豚が食肉流通公社に搬入され、2日目には出品豚のと畜・解体、3日目に枝肉の審査が行われました。

審査の結果、名誉賞は登米市迫町の三塚正恵さんの出品豚が獲得し、農林水産大臣賞及び宮城県知事賞を受賞しました。

また、登米市豊里町の有限会社ピッグ夢ファームの出品豚が最優秀賞を獲得し、農林水産省畜産局長賞及び宮城県議会議長賞を受賞しました。

なお、団体賞は登米地区が獲得しました。

名譽賞を獲得した三塚さんの出品豚は、宮城県畜産試験場が8年の歳月をかけて改良し系統造成した、デュロック種の系統豚「しもふりレッド」の純粋種を利用した豚で、豚肉は銘柄豚「伊達の純粋赤豚」として販売されています。



名譽賞を獲得した三塚さん(左)と最優秀賞を獲得した(有)ピッグ夢ファーム 佐々木さん(右)

令和7年11月28日開催

河川クリーンキャンペーン

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

河川への不法投棄の防止と河川愛護を推進するため、一般社団法人宮城県建設業協会登米支部と協働で、迫川流域の一斉清掃活動「河川クリーンキャンペーン」を毎年実施しており、今年で47回目の開催となります。

11月28日(金)、登米市内の建設業18社・1団体の110人と当事務所職員19人が参加し、市内の迫川と旧迫川の清掃作業を行いました。全体で780kgの一般ゴミや廃タイヤなどを回収し処分しました。そのうち、当事務所では40kgのゴミを回収しました。

昨年に比べ、回収したゴミの総量が約90kg増えており、依然として相当量の不法投棄がありました。引き続き、本活動等を通じた良好な河川の親水空間の確保、景観や環境美化に取り組んでまいります。



参加者129名



河川敷のゴミ回収



当事務所職員が回収したゴミの状況